

# 小児救急（夜間・休日）の上手なかかり方



## 1 緊急を要するか迷った時は まず相談しましょう



こどもの急病、ケガなどで不安なときや、迷ったりしたときは、「かかりつけ医」や「小児救急医療電話相談センター」などに相談しましょう。看護師がお子様の症状への対処方法についての助言、受診医療機関を紹介します。

### ● 北播磨小児救急医療電話相談センター

☎ (0794) 62-1371

相談時間 / 18:00~22:00 (祝祭日、年末年始を除く)

### ● 兵庫県小児救急医療電話相談センター

☎ ① #8000 (プッシュ回線、携帯電話)

☎ ② (078) 731-8899 (ダイヤル回線、IP電話)

相談時間 / 平日・土曜日 18:00~24:00

日曜祝日、年末年始 9:00~24:00

携帯電話に電話番号を  
登録しておきましょう!



### ● こどもの救急ホームページ

(日本小児科学会監修)

アドレス <http://kodomo-qq.jp>

診療時間外に医療機関を受診するかどうか、症状別にチャート式で判断できます。(対象年齢：生後1カ月~6歳)

## 2 小児救急医療機関を探しましょう



普段から、救急の場合の受診先を確認しておきましょう。

● 市町広報誌、新聞  
等も確認しておき  
ましょう



● インターネットを利用する場合

北播磨県民いきいき情報「救急医療」欄

<http://kitaharima-ikiiki.com/>

北播磨県民いきいき情報携帯サイト

<http://www.kitaharima-ikiiki.com/m/>



QRコード

## 3 小児救急医療機関を受診しましょう



子どもの症状や様子の分かる人が連れて行きましょう。

お医者さんに伝えること(メモ書きして持って行きましょう)

- いつから始まったのか
- どんな症状なのか(熱、症状、食欲、排便の様子等)
- 近所や保育園・幼稚園での流行は(インフルエンザ等)
- 飲んでいる薬は。薬や食物などのアレルギーの有無

### かかりつけ医をもちましょう

昼間「子どもの様子がおかしい」と思ったら、診療時間内に「かかりつけ医」を受診して、夜間の対応も含めて相談しておきましょう。

かかりつけ医の連絡先

お子さんの平熱

医院名:

電話番号:

℃

いつも手元に置いて  
おきましょう

# 症状別受診ガイドライン

(兵庫県医師会：子どもの救急ガイドラインより)

## 緊急性

**緊急1度** 次の症状のうち、  
ひとつでも  があれば  
すぐに救急車を呼ぶ

夜間や日曜・祝日に子どもが  
病気になった時の「救急受診  
の目安」です。緊急1度・2度以  
外は翌日まで待って「かかり  
つけ医」を受診しましょう。

**緊急2度** ひとつでも  があれば  
救急医療機関を受診する  
(救急車までは必要ない)

## 発熱 38.5℃以上

- 元気がなく、ぐったりしている
- 12時間以上おしっこがでない
- 眠ってばかりで、あやしても笑わない
- 水分を受け付けない
- けいれんをした
- 吐いて、頭痛を訴える
- 呼吸が苦しそう

3ヶ月未満の赤ちゃん  
の発熱はすぐに受診



## お腹が痛い

- お腹がパンパンにふくらんでいる
- またの付け根、陰のう部がはれて色が変わっている
- 便に血がまじっている
- 不機嫌が続く、10分おきくらいに痛がる
- 発熱を伴う
- だんだん痛み(痛そうな様子)がひどくなる、我慢できない
- さわると嫌がる

## 誤飲

- 呼びかけても反応がない
- 呼吸が弱く、咳き込んで苦しそう

【日本中毒情報センター】 大阪中毒110番 072-727-2499

## けいれん(ひきつけ)

- 10分以上たっても、けいれんが止まらない
- けいれんが止まっても、意識がもどらない
- くちびるの色が紫で呼吸が弱い

通常のひきつけは  
数分で治まります。  
何分くらい続いた  
のかよく観察して!  
口の中に指を入れ  
たり、大声で叫んだ  
り、体をゆすったり  
しないで!

- けいれんが止まったが5分以上続いた
- はじめてのけいれん
- 生後6ヶ月未満の乳児
- 6歳以上の小児
- けいれん時の熱が38℃以下
- 何度も繰り返しけいれんをする
- けいれんに左右差がある(半身だけけいれんをする等)
- 嘔吐、失禁(おしっこがもれる)を伴う

## 咳がでた

- 声がかすれる、オットセイの鳴き声みたいに咳き込む
- ゼーゼー、ヒューヒューという
- 苦しくて肩で息をしている、呼吸が速い
- 苦しくて横になれない
- ぐったりしている
- くちびるや口の周りが紫色



## 吐いた

- 哺乳のたびに繰り返す、勢いよく吐く
- お腹を痛そうにしている
- 機嫌が悪く、繰り返し泣く
- お腹が張っている
- 血液や緑色のものを吐いた
- 元気がない、いつもと違う
- 何回も下痢をしたり、便に血が混じっている
- ポーっとしていたり、ちょっとした刺激で過敏に反応する



## 頭部の打撲

- 呼びかけても反応がない
- けいれんをしている
- 吐く
- 意識はあるが、反応が鈍い、うとうとしている
- 目や耳から出血している

